

MPS08B 計測ソフト 更新のご案内

【PC アプリケーション / ファームウェア : Ver1.3.0.5】

この度、金型内計測システム モールドマーシャリングシステム 圧力計測アンブ「MPS08B」のソフトウェアアップデートを行いました。以下、ダウンロード・アップデート方法と変更箇所を記載します。

■ダウンロード方法

1. 以下リンクより金型内計測システム専用サイトにアクセスして下さい。

<https://mms.mtb.futaba.co.jp/>

2. 金型内計測システム専用サイト右上の「資料ダウンロード」→「ソフトウェア(お客様情報ご入力)」の手順で進んでください。

3. MPS08B 計測ソフトウェア 1.3.0.5 の ZIP をダウンロードし解凍、デスクトップに配置して下さい。

■ファームウェア アップデート方法

1. 上記「ダウンロード方法」にてデスクトップ配置頂きましたフォルダを開き、ソフトウェアを起動して下さい。

計測ソフトウェア :  MPS08B_Application_1_3_0_5.exe

2. PC と MPS08B の接続を確立して下さい。※接続方法に関しましては取扱説明書を参照ください。

3. 画面計測ソフトウェア左上の「その他」→「ファームウェアアップデート」を選択して下さい。

4. ファームウェアアップデートをクリックして下さい。

以上にて、アップデート完了し最新機能をご使用頂けます。

■変更内容

変更点.1 クイックスタート設定モードを追加

従来	変更後
通常の設定のみでした。	クイックスタート設定機能の追加により、初めてご使用頂くお客様にもウィザード形式で簡単に設定できるようになりました。

【詳細画面】



設定モードを選択して下さい。
クイックスタート
 通常

計測時間設定
計測する時間 (トリガ信号受付後、何秒間測定するか) を設定します。
成形サイクルタイムより短い時間として入力して下さい。
計測時間 [s]: 10

サンプリング間隔設定
プルダウンよりサンプリング間隔を選択してください。
サンプリング間隔が長い(最大1s)・・・データ取得する周期 (1msの場合、1msごとのデータを取得します)
サンプリング間隔が短い(最小1ms)・・・データ量は小さいが角ばった波形になる
1msサンプリングを推奨しております。指定が無い場合は1msのまま次の設定に移行して下さい。
サンプリング間隔: 1ms

チャンネル・センサ設定
接続したセンサの感度区分 (センサ個体差をそろえる) を計測ソフトに読み込ませます。
接続したセンサの感度区分に認識されている(各桁の英数字)を入力して下さい。
ボタ形状センサをご使用の場合はエジコタピンの形状、受圧面積 (円直径、幅、高さ、面積より) を入力して下さい。

CH	センサ感度区分	形状	円直径 [mm]	幅 [mm]	高さ [mm]	面積 [mm ²]
CH01	1	1000	A	丸形		
CH02	1	1000	A	丸形		
CH03	1	1000	A	丸形		
CH04	1	1000	A	丸形		
CH05	1	1000	A	丸形		
CH06	1	1000	A	丸形		
CH07	1	1000	A	丸形		
CH08	1	1000	A	丸形		

計測時間・サンプリング間隔設定
計測時間 [s]: 10 サンプリング間隔: 1ms

CH	センサ感度区分	形状	CH	センサ感度区分	形状	CH	センサ感度区分	形状	CH	センサ感度区分	形状			
CH09	1	1000	A	丸形	CH17	1	1000	A	丸形	CH25	1	1000	A	丸形
CH10	1	1000	A	丸形	CH18	1	1000	A	丸形	CH26	1	1000	A	丸形
CH11	1	1000	A	丸形	CH19	1	1000	A	丸形	CH27	1	1000	A	丸形
CH12	1	1000	A	丸形	CH20	1	1000	A	丸形	CH28	1	1000	A	丸形
CH13	1	1000	A	丸形	CH21	1	1000	A	丸形	CH29	1	1000	A	丸形
CH14	1	1000	A	丸形	CH22	1	1000	A	丸形	CH30	1	1000	A	丸形
CH15	1	1000	A	丸形	CH23	1	1000	A	丸形	CH31	1	1000	A	丸形
CH16	1	1000	A	丸形	CH24	1	1000	A	丸形	CH32	1	1000	A	丸形

入出力信号
※以下デフォルト設定と、接続との差異がないか確認ください。

番号名	接続方法	出力	番号名	接続方法	出力
オプショ1	トリガ-1	ポート1	オプショ1	トリガ-1	ポート1
オプショ2	トリガ-2	ポート2	オプショ2	トリガ-2	ポート2

以上にてクイックスタートの設定は完了になります。
保存を押すと以下ファイル名にて設定を完了します。
ファイル名称: 20240621_setting.xml

変更点.2 保存データ選択機能を追加

従来	変更後
計測したすべての波形データが保存されていました。	「全波形」、「アラーム」、「インターバル」より必要なデータのみ選択して保存できるようになり、データ削減等に活用いただけるようになりました。
<p>【詳細画面】</p> <p>管理者設定 「ファイル名称」は半角英数にて設定ください。</p> <p>保存データ選択</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全波形 <input checked="" type="checkbox"/> アラーム波形 <input checked="" type="checkbox"/> インターバル波形 10 ショット</p> <p>※PC保存データのみ対象となります。</p> <p>転送時代表値取得</p> <p>全波形はALLより始まるファイル名で保存されます ALL_Futaba_test_20240620_135817_000004.csv ALL_Futaba_test_20240620_135826_000005.csv ALL_Futaba_test_20240620_135830_000006.csv</p> <p>アラームはALMより始まるファイル名で保存されます ALM_Futaba_test_20240620_135838_000008.csv ALM_Futaba_test_20240620_135842_000009.csv ALM_Futaba_test_20240620_135845_000010.csv</p> <p>インターバルはINTより始まるファイル名で保存されます INT_Futaba_test_20240620_135845_000010.csv INT_Futaba_test_20240620_135924_000020.csv INT_Futaba_test_20240620_140248_000030.csv</p>	<p>■全波形にチェック →すべての計測した波形データを保存します</p> <p>■アラーム波形にチェック →アラームの波形データを保存します</p> <p>■インターバル波形にチェック →指定したショット間隔で波形データを保存します</p> <p>※複数のチェックボックスを選択することも可能です</p>

変更点.3 計測メイン画面に演算値の選択機能を追加

従来	変更後
計測メイン画面のチャンネル表示部分に表示される演算値は、「ピーク」、「積分値」が固定されていました。	「ピーク」、「積分値」以外の演算値をプルダウンより選択、表示頂けるようになりました。
<p>【詳細画面】</p> <p>従来</p> <p>変更後</p> <p>MD Value :-</p> <p>名前 ピーク 積分値</p> <p>CH01 : Sensor_1 0.0 0.0 CH02 : Sensor_2 0.0 0.0 CH03 : Sensor_3 0.0 0.0 CH04 : Sensor_4 0.0 0.0 CH05 : Sensor_5 0.0 0.0 CH06 : Sensor_6 0.0 0.0 CH07 : Sensor_7 0.0 0.0 CH08 : Sensor_8 0.0 0.0 CH09 : Sensor_1 0.0 0.0 CH10 : Sensor_2 0.0 0.0 CH11 : Sensor_3 0.0 0.0 CH12 : Sensor_4 0.0 0.0 CH13 : Sensor_5 0.0 0.0 CH14 : Sensor_6 0.0 0.0 CH15 : Sensor_7 0.0 0.0</p> <p>【選択可能項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピーク ・積分値 ・ピーク到達 ・ピーク積分 ・t秒後値 ・区間平均値 ・区間積分1, 2 ・突出ピーク 	

変更点.4 計測時間の最小単位を 1s から 10ms に変更

従来	変更後
計測時間の最小単位は1s でした。	計測時間の最小単位が 10ms となりました。
<p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測完了から次の計測開始トリガ入力までの間隔は 20ms 以上必要となります。 ・USB メモリへのデータ保存について「開始トリガ入力」から「次の開始トリガ入力」までの間隔が 2s 以上必要となります。 ・計測周期(開始トリガ入力～次の開始トリガ入力までの間隔)が 1s 以下の場合、PC、USB の両方で正確なデータ保存が行えない場合がございます。計測周期は 1s 以上となるようにして下さい。 	

変更点.5 時刻のずれを改善

従来	変更後
長時間継続して計測すると、MPS08B の時刻及び、保存データの時刻が実際の時刻よりずれることがありました。	より細かいタイミングで PC と時刻を合わせることにより、時刻のずれを改善しました。